

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 「プレアビヒア州農協センター建設計画」 完成式典開催

平成28年10月25日（火）、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（供与限度額84,662米ドル）により建設された農協センターの完成式典が、プレアビヒア州で開催されました。右式典には、プレアビヒア州からリー・サラレット副知事、日本国大使館から藤本書記官が出席して祝辞を述べるとともに、農協の関係者、地域住民等約250人が参列しました。



本案件はプレアビヒア州の3農協において、農作物や資機材の保管等に用いる農協センターを建設し、米の乾燥機や脱穀機、脱豆機等の農業機材を供与することにより農業生産性と農産物の品質を向上させることを目的とするものです。2016年3月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典の運びとなりました。

式典ではプレアビヒア州農業局長による事業報告に続き、藤本書記官がスピーチを行い「近年、カンボジア米の輸出は増加しており、その品質も評価されている。今回の支援が高品質な米の増産に寄与し、農家の生計が向上するとともに、高品質なカンボジア米をより多くの消費者が楽しめるようになることを期待する。この農協センターがカンボジアと日本の友好関係のシンボルとして長きにわたって適切に維持管理され、有効に活用されることを願う。」と述べました。

続いてリー・サラレット副知事が日本国政府への感謝の意を伝えるとともに「今回の支援は農産物、特に農家にとって高く売れる有機米の生産性を向上させるために非常に有意義である。農家の活動がより活発になり、農家の生計が向上することを期待する。」と述べました。式典に参列した農家代表と小学校の生徒代表に農業局から野菜の種子や文房具が配布された後、農協センターの見学を行い、式典は無事に終了しました。



来賓によるテープカット



会場の様子



スピーチを行う藤本二等書記官



スピーチを行うリー・サラレット副知事



農業局から農家へ野菜種子の配布



供与されたハンドトラクターと脱穀機（奥側）



米乾燥炉の見学



式典が行われた農協